



バンコクの観光スポットとして外せないものの一つは、市内に点在する仏教寺院の数々であろう。これらをここでも紹介しなければ、と常々思い、この日こそはと、チャオプラヤー川方面に向かった。既に夜とはなっていたが、川のほとりに立つ多くの有名寺院は、ライトアップされ、その荘厳かつエレガントなシルエットを夜空に映しだしているはずだ。そこでたどりついたのがここである。無数の尖塔が屋根から突き上がり、足もとからオレンジ色の光の束が這い上がり幻想的な世界を醸し出す。夢中になってシャッターを押しているうち、いつのまにか境内に入っていた。全く人の気配はない。だが、一か所だけ煌々と光が溢れ出ている場所があった。恐る恐る覗き込んだ先に、眩いばかりに輝く黄金色の仏様が。そして傍らには、僧侶と、その話に聞き入る信者の姿。邪魔してはいけない、とそっと立ち去る。外はまた静寂、見上げれば満天の星。寺院の名は「ワット・ラーチャナッダーラーム」王室仏教寺院の一つであった。拝観時間は午前9時から夕方5時。